

日々、拭く。

日々の生活において私たちは、さして意識せずにさまざまなものを拭いている。食事の前後には食卓を、お風呂を出たら体を拭く。花粉症ならば鼻水を紙で拭うし、最近では携帯電話やスマートフォンも拭く対象に加わった。水や水分、または汚れを取り去ってきれいにする。それが「拭く」という行為だろう。

「雑巾」がかって「浄巾」と呼ばれていたように、拭く道具は時代によって変化している。しかし、道具は変わっても、水を拭きとり、汚れを拭い去るという行為そのものは変わらない。個人的な所作でありながらも、多くの人々が共有する「拭く」は、生活文化の一つである。

そんな身近な「拭く」という行為について考えたことがあっただろうか？ その本質とはいったい何なのか。そして「拭く」として水はどのような関係にあるのか、生活様式や道具の変遷、さらに行為に宿る精神などから「拭く」を読み解いていく。

目次

巻頭エッセイ

- 2 ひとしづく 拭う 藤森照信

特集 日々、拭く。

- 6 概説 「拭く」行為に宿る精神性と宗教性 山折哲雄
 10 生活史 日本人はいつから「拭く」ようになったのか？ 小泉和子
 14 地域 「雑巾がけ」の速さを競う勇者たち Z-1 グランプリ
 18 生活用品 「拭くシート」から見える日本事情 花王株式会社
 22 五感 「今、ここ」へ戻るために—— 触覚体験としての「拭く」 鈴木禎宏
 24 家庭紙 誰も知ろうとしなかった「拭く紙」 関野勉
 28 ライフ どこを拭くか「観察」して考える 新津春子
 32 現代社会 掃除の変化と「拭く」のゆくえ 永井良和
 35 文化をつくる 「拭く」と「水」の切り離せない関係 編集部

連載

- 36 水の文化書誌 49
 生と死と共に流るるガンジス川 古賀邦雄
 38 魅力づくりの教え 10
 質にこだわらずにはいられない文化
 香川県小豆郡小豆島 中庭光彦
 42 食の風土記 10
 旬の食材を地元で味わう「せりしゃぶ」 宮城県名取市&仙台市
 45 Go! Go! 109水系 14
 瀬戸内の風土を反映した効率的な水利用の損保川 坂本貴啓

- 50 センター活動報告
 51 編集後記／ご案内
 (敬称略)